

図書館だより 第2号 summer

平成 26 年 7 月 18 日
横浜市立緑園東小学校
校長 副島 江理子
学校司書 藤森 香織

最近の緑園東小学校では、子どもたちで紙しばいを読み合ったり、読み聞かせやブックトークをしたり、本を紹介するポップを作ったりと、読書活動の広がりを感じます。中学年以上の子どもたちは「読む」だけでなく、図書や他の資料を使って「調べる」、「情報を選ぶ」という事も徐々に身につけてきています。図書館では、これからも子どもたちの学習のねらいに応じた支援を行っていきます。



「図書」に関連した授業を紹介します。



1年生…国語「くちばし」に関連して、鳥の本をたくさん読みました。週一回の「図書の時間」をととても楽しみにしている1年生。額を寄せ合って本を読む様子はとてもかわいらしいです。

2年生…国語「お話のさくしゃになろう」では、「ふしぎなせかいにいくはなし」、「じけんがおきるはなし」など4つのテーマで集めた本を読んで、構成を学びながら世界に一つだけの作品を作りました。

3年生…国語「海をかつとばせ」の「本は友だち」に関連して、同年代の子どもが主人公の本を読んでいます。元気な3年生らしく、競い合って読みたい本を選んでいきます。みんな、何冊読めるかな？

4年生…国語「読書生活を考えよう」より、自分たちの読書生活についてアンケートを取った結果を報告書にまとめ、読書生活を豊かにするための提案を行いました。子どもたちの意見の中には、「自分の読書時間を増やす」、「物語以外も読んでみたい」といったものや、「新しい本がいつ来るのか、何冊でどんな内容なのか予告する」、「図書を使った友だちと協力できるゲームをする」などの新しい提案もあり、今後の読書活動の充実につなげたいと思います。



5年生…国語「百年後のふるさとを守る」と自分が選んだ伝記を紹介するポップ作りを行いました。



短い文章に偉人や本の伝えたいことをどうやってまとめるか、どんなキャッチフレーズにするか、子どもたちは時間をかけて素敵なポップを作りました。

6年生…国語「ようこそわたしたちの町へ」に関連して、日光のガイドブックを作りました。図書やホームページからどの情報を選ぶか、ガイドブックに引用する時のルールにはどのようなものがあるのかを学びながら、ガイドブックを完成させました。作品は図書館に所蔵していますので、下級生が来年以降に日光へ行く時の強い味方になりそうです。

個別級…一人ひとりが推薦する図書を紹介しました。それを聞いて、読みたい本の人気投票を行いました。

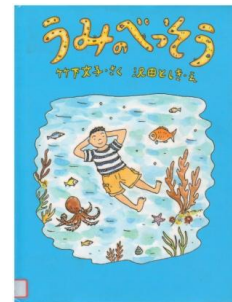


図書館より夏におすすめの本

長い夏休みには親子で本を読んでみませんか？

低学年向き『うみのべっそう』竹下文子・さく 沢田としき・え（佼成社）

なつやすみ、「うみのべっそうをかりました。あそびにおいで」とおじさんからはがきをもらったぼくは電車でべっそうに向かいました。わかめのもりでかくれんぼしたり、すなのひろばでやきゅうをしたり…あなたも「うみのべっそう」へ行ってみませんか？夏休みは特別な思い出ができそう！とワクワクするお話です。



低・中学年向き『フィーフィーのすてきな夏休み』

エミリー・ロッダ作 さくまゆみこ訳 たしろちさと絵(あすなる書房)

「チュウチュウ通り3番地にすんでいるフィーフィーは、子たくさんで、とてもいそがしいおかあさんです。」おりょうり、おせんたく、おそうじ、おさらあらいなど休むひまはありません。ある晩、夕ごはんを食べている時にチーズのおさら顔をつっこんでしまったフィーフィーを見て、子どもたちはお手伝いしてあげようと考えますが…。お子さんと読んでほしいお話です。



高学年向き『少年たちの夏』横山充男・作 村上豊・絵（ポプラ社）

弘治は四万十川をめぐる自然の中でのびのびと暮らしています。お父さんとお母さんは大阪へ出稼ぎに行っており、弘治はおばあちゃんと弟2人の4人暮らしです。弘治は夏にいかだを作って四万十川を下ろうと同級生のまもるに提案し、一緒に計画を立てます。そんな中、お母さんから「大阪へ遊びにおいで」と手紙が届きます。でもおばあちゃんには別の内容の手紙が届いていました…。

こんなキラキラした思い出を子どもたちにも作ってほしいと思います。

